

令和2年6月18日

学校薬剤師 殿

公益社団法人 広島県薬剤師会
会 長 豊見 雅文

学校での消毒等について(更新)

6月4日付の文部科学省事務連絡「学校における消毒の方法等について」の次亜塩素酸水の噴霧に関する記載が今回修正され、学校で噴霧を検討する場合は、学校医、学校薬剤師の助言により判断するように記載されています。

○学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル
～「学校の新しい生活様式」～
(2020.6.16 Ver.2)

https://www.mext.go.jp/content/20200616-mxt_kouhou01-000007426_01.pdf

上記資料21ページの記述

【次亜塩素酸水の噴霧】について

「次亜塩素酸水」を消毒目的で有人空間に噴霧することは、その有効性、安全性ともに、メーカー等が工夫して評価を行っていますが、確立された評価方法は定まっていないと言われています。メーカーが提供する情報、厚生労働省などの関係省庁が提供する情報、経済産業省サイトの「ファクトシート」などをよく吟味し、使用について判断するようお願いいたします。なお、児童生徒等の中には健康面において様々な配慮が必要な者がいることから、使用に当たっては、学校医、学校薬剤師等から専門的な助言を得つつ、必要性や児童生徒等に与える健康面への影響について十分検討して下さい。

広島県の学校薬剤師各位におかれましては、以下のようにご指導下さい。

●次亜塩素酸水の噴霧は行わないで下さい。

1. 人が発した飛沫にコロナウイルスが含まれているとして、その飛沫の空気中の占有体積から考えて、噴霧された次亜塩素酸水と接触する可能性はほぼゼロである。
2. 噴霧された次亜塩素酸水が気化して有効だとしたら、有効成分は塩素ガスとなり、効果がある濃度だとしたら、その場にいる人間がダメージを受ける。
3. 業者団体の顧問である三重大学教授の福崎氏は「閉鎖系で次亜塩素酸噴霧の有無で落下菌を比較したところ、次亜塩素酸水の落下菌数は70%減。同じ空間に人がいた場合次亜塩素酸水噴霧の有無で差は出ない。人間という汚染源があると、除菌が上手く行かない、今後の課題だ。」と記者会見で述べている。有人空間での噴霧が無効であることを自らが述べています。
4. 有人空間での噴霧による消毒は人体に有害であるとされ、他の薬剤でも行われていません。

●次亜塩素酸水は、決められた製法、保存法、保存期間、濃度、PHがあればコロナウイルスにも有効だと考えられます。しかし、有機物等の存在ですぐに無効になることが知られています。界面活性剤(住まい用中性洗剤や塩化ベンザルコニウム)が有効であることが判明した今、効果が不確実な次亜塩素酸水を使う意味は無いと考えます。